

令和8年度 入沢頭首工調査補修設計業務

特 記 仕 様 書

特 記 仕 様 書

1. 適用の範囲

本仕様書は、八雲町が発注する「令和8年度 入沢頭首工調査補修設計業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

本業務の実施にあたっては、本特記仕様書によるほか、「北海道農業土木調査測量設計業務共通仕様書」（北海道農政部）及び関係法令等によるものとする。

2. 業務の目的

本業務は、八雲町が管理する入沢頭首工について、令和5年度に実施した「入沢頭首工及び水路施設機能診断業務」の成果を活用し、施設の劣化状況及び健全度を踏まえた補修設計を行うことにより、施設の長寿命化及び適正な維持管理に資することを目的とする。

3. 業務内容

（1）業務名称

令和8年度 入沢頭首工調査補修設計業務

（2）履行期間

令和8年7月3日から令和9年2月15日までとする。

（3）業務項目および業務箇所

別紙業務箇所図による。

4. 管理技術者・照査技術者

管理技術者及び照査技術者は、北海道農業土木調査測量設計業務共通仕様書によるものとする。

5. 業務内容

（1）業務計画

受注者は業務着手にあたり、本業務の目的及び内容を十分把握したうえで業務計画書を作成し、監督職員へ提出するものとする。
業務計画書には次の事項を記載するものとする。

- 業務概要
- 実施方針
- 業務工程
- 業務実施体制
- 打合せ計画
- 成果品内容

- 安全管理計画
- 緊急時連絡体制
- その他監督職員が必要と認める事項

(2) 現地調査

受注者は、令和5年度機能診断成果を踏まえ、入沢頭首工の補修対象施設である側壁及びエプロンを対象として、補修設計に必要な現地調査を実施するものとする。

- コンクリートの劣化状況
- ひび割れ、欠損、摩耗等の変状状況
- 側壁及びエプロンの損傷状況
- 補修設計に必要な寸法及び現況確認
- その他設計上必要な事項

なお、調査結果については図面及び写真等により整理し、補修設計の基礎資料として取りまとめるものとする。

(3) 補修工法の検討

調査結果及び既往成果を踏まえ、補修対象箇所ごとに補修工法の比較検討を行うものとする。

比較検討にあたっては次の事項を考慮する。

- 構造的安全性
- 耐久性
- 維持管理性
- 経済性
- 施工性

受注者は比較結果を整理し、最適な補修工法を提案するものとする。

(4) 補修設計

補修設計は、業務箇所図に示す側壁及びエプロンを対象とし、現地調査結果及び既往成果を踏まえて実施するものとする。

設計にあたっては、対象施設ごとに劣化状況を整理し、補修の必要性、優先順位及び補修範囲を検討したうえで、適切な補修工法を選定するものとする。

設計成果として次の資料を作成するものとする。

- ① 補修設計図面
- ② 数量計算書
- ③ 補修工法比較検討資料
- ④ 概算工事費算出資料
- ⑤ 施工上の留意事項整理資料

なお、数量計算は側壁及びエプロンの補修対象範囲を明確にしたうえで算出するものとする。

(5) 関係機関協議支援

発注者が関係機関との協議を行う場合、受注者は必要な資料作成及び技術的支援を行うものとする。

6. 打合せ協議

打合せ協議は、次の3回を標準とする。

1. 業務着手時
2. 中間時
3. 成果品納入時

なお、着手時及び成果品納入時には管理技術者が出席するものとする。

7. 安全管理

受注者は現地調査にあたり、安全管理に十分留意し、転落事故、第三者災害及び河川増水等による事故防止に努めるものとする。
必要に応じて安全管理計画を作成し、監督職員へ提出するものとする。

8. 成果品

成果品は次のとおりとする。

(1) 紙成果品

- 業務報告書 2部
- 現地調査写真帳 2部
- 補修工法比較検討資料 2部
- 設計図面 2部
- 数量計算書 2部
- 概算工事費算出資料 2部

(2) 電子成果品

- 上記成果品一式 電子媒体1部

9. 貸与資料

発注者は業務の実施にあたり、次の資料を貸与する。

1. 令和5年度 入沢頭首工及び水路施設機能診断業務成果品一式
2. 発注者が保有する関係資料
3. その他業務遂行上必要な資料

10. その他

本業務に関する事項については機密を厳守し、無断で第三者へ提供又は漏えいしてはならない。
本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。